

# 平成4年度総会御案内

本庄高等学校同窓会員各位

本庄高等学校同窓 会長 岡 祐 孝

新緑目に染みる季節になりました。会員の皆様にはお健やかにお過ごしのこととご推察申し上げます。本年は母校も創立70周年という大きな節目の年を迎えることになりました。従いまして来る6月20日の総会におきましては記念事業の内容等につきまして詳しくご報告申し上げる予定になっております。万障お繰り合わせの上ご出席下さいますようお願い申し上げます。

日時 / 6月20日(土)午後3時

場所 / 埼玉グランドホテル本庄(本庄駅南口)

内容 / 午後3時 通常総会

午後4時 ティーパーティ(無料)

記念演奏会 / バリトン独唱 浦野智行(日本音楽コンクール入賞)、ピアノ伴奏 岡 典子

懇親会 / 午後4時30分 会費 3,000円

御招待予定 / 恩師 野口久吉、岡 一孝、針谷良美 3先生



発行 会  
本庄高校同窓会  
会長 岡 祐 孝  
事務所 本庄市銀座3-5-8  
岡 病院 内

ごあいさし



同窓会長 岡 祐 孝

親愛なる同窓生の皆様、ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、埼玉県立本庄高等学校の創立七十周年記念式典が、平成四年十一月二十八日(土曜日)に内定しました。意義ある祝賀会を開催すべく関係者一同、着々準備を進めております。

記念事業の一環として、在校生の学習環境を整備し、鋭意勉学に勤しむよう、合宿棟の改善と全日制の生徒用食堂の充実を図って、昨年来、会員各位のお手元に趣意書をご送付して、後輩育成のためのご協力を懇願申し上げました

一応、募金期間は、平成三年十月一日より、平成四年五月三十一日迄となっておりますが、お仕事が多忙を極め、つい応募の手續を失念なさった方々には、平成四年六月三十日(火曜日)迄、応募期間を延長して、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

来る十一月二十八日(土曜日)の七十周年記念祝賀会には、ご来臨の栄を賜り度く、同窓生各位のご参加を、謹んでご勧誘申し上げます。

と、幸いにも、先輩の皆様方には、温かいご理解を示されて、善意の募金を陸續と寄せられ、母校愛に燃えるご芳志に、吾等本部役員一同、只々感激し、衷心より感謝申し上げます。紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

## 平成三年度 事業報告

- 3年4月(1)母校入學式に出席
- (2)統一地方選立候補会員を激励
- 5月 平成3年度版会員

### 名簿発刊

6月(1)同窓会会報14発行

(2)講演会開催

(3)平成3年度通常総会開催

9月(1)中高連絡会開催

(2)全会員に70周年記念事業募金趣意書及び振込用紙発送

10月 母校柏樹祭に出席

12月(1)同窓会会報15発行

(2)年賀状発送

4年1月 母校へ助成金贈呈

2月(1)育英資金贈呈

(2)支部長会議・新年会を開催

3月(1)新会員入会式開催

(2)新幹事の委嘱と懇親会の開催

(3)母校卒業式への出席と記念品の贈呈

役員会及び事務局会毎月開催

井上不二夫 児島満江 臨教

渋谷 悟 坂本千恵 非講

関根君江、若林澄江、若旅百合

美、矢崎知恵、安田洋子、加藤

剛、丸橋健一、萩原美香

〔転出〕教諭 藤掛次郎、中里

尚子、小原 寛、高梨吉弘 実

助 荻野千鶴、高林紀子

〔転入〕校長 坂本 博 教諭

中里 敬海、老海勝義、銭谷郁

子、藤掛サクラ、古末行一、後

藤定信、日比谷繁、佐藤加代子、

浅見宏子 実助 内野恵子、

佐藤淳子 兼務・非講等 坂

本千恵、乗松雅宏、猪野玉次、

中岡 天、国谷敏朗、桜井憲章、

大野福治、井上不二夫、加藤千

佳、岡村真実子、寺園和仁、須

藤和夫、竹田み

〔退職〕臨養 本堂圭子

〔転出〕教頭 新井行雄 教諭

小林吉司

〔転入〕教頭 小櫃俊夫 教諭

白石宗一 養教 松田真奈美

兼務・非講等 神原秀紀、野口

三恵子、長谷川秀子

## 教職員の異動

(敬称略)

〔全日制〕  
〔退職〕校長 中里邦夫 教諭

## スローガン

- 1. 名誉ある歴史と伝統に輝く母校を愛し母校の発展に寄与しよう。
- 1. 本高同窓会の旗の下に結集し、地域に香り高い文化の花を咲かせよう。
- 1. 人間関係を大切にし、会員相互間に親睦の輪を上げよう。
- 1. 組織を整備強化し、機能的な連絡網を拡充して、同窓会の活性化を図ろう。
- 1. 建学の精神を尊重し、後輩の指導育成に努めよう。



# 校長 坂本 博

## 想は高く

創立七十周年を迎えた母校に約三十年ぶりに戻り、感慨無量のものがあります。

私の最初の教職生活のスタートが昭和三十五年で本庄高校でした。

僅か三年で転任しましたが、今でも新鮮な思い出が沢山あります。

当時の本庄高校は「県北の雄」として旧制中学校以来の質実剛健の校風と新制高校の自主・自由の気風が混然として独自のスクール・カラーを形成していました。

個性豊かな生徒が少なくなく進学、部活動、生徒会活動も活況を呈していました。

この伝統は今日まで連続として受け継がれ、地域社会に確固とした地位を築いております。

本校に学ぶ生徒諸君は恵まれた学習環境を大いに活用して、勉学に、部活動等に積極的にとりくみ、大いに成果をあげてほしいものです。

生徒諸君には次のことを期待したい。

第一には、高校時代のもの

「心の手いれ」が必要ないように「心の手いれ」を忘れないで、自分の転換、ストレスの解決を図ることが大切です。

語らい、自然と親しむことなどを通し、心豊かな人間として成長し、自分の有する才能を十分に発揮してほしいものです。

「想は高く、暮しは低く」という言葉があります。理想、目標を實現するには日々の生活は質素にし、必要な時間をたっぷり注入してみたいものです。

第二には、精神と身体のパランスを大切にしてほしい。



### 記念誌編集委員長 卜部 義典

## 『二十一世紀への飛翔』 刊行をめざして

#### 一、記念誌の主題

『二十一世紀への飛翔』

——五十年記念誌は、本庄高校の前身本庄中学校ならびに本庄高等女学校の創立から五十年間の戦中戦後の歩みを歴史的にまとめた「埼玉県立本庄高等学校五十年史」を刊行しました。

六十周年記念誌は、母校で学んだ頃のことを回想しながら、「母校を語る」個人原稿ならびに座談会の内容をまとめました。

七十周年記念誌は五十年・六十年の素晴らしい実績をふまえて、母校で学んだ者が、母校の発展を願うさまざまな発想を出し合い、相互の連帯を

はかりながら、二十一世紀に向かつて、大きく飛翔していきたいと存じます。

二、編集構想

1、個人原稿

各卒業年度より一人ずつ原稿の依頼を申し上げ、すでに五十通ほど到着しています。未提出の方の原稿が待たれるところです。

2、座談会

特色ある次の五つのテーマに従ってすでに実施済みで、その浄書作業に入っています。

① 本中充実期に学ぶ

本中卒6〜10期の九名

② 戦中・戦後に学ぶ

本中23期・本高1期九名

③ 戦中・戦後に学ぶ

本庄高女から本高への移行期 高2〜4期女子八名

④ 本高施設充実期に学ぶ

本高12〜21期の広範囲九名

⑤ 本高元職員回顧談

本高での数々の思い出と飛翔への提言、五名

3、資料収集

沿革史(年譜)、校歌、校舎配置図、応援歌などはもとより、思い出多き記録のなかから、作業学習、剛健行軍、勤労動員など五・六十周年記念誌等から抜粋紹介したいと存じます。

また、柏陵ニュース・本高新聞などからユニークな記事の紹介や同窓会記録、スナック写真なども掲載したいと存じます。

さらに、六十周年から七十年にかけての主なことからなども取り上げ三五〇ページ前後にまとめる予定です。

三、記念誌の配布

在校生・現教職員全員に配布するほかに、記念事業に協賛し寄付金を納入された方々さらに原稿や座談会に協力された方々に贈呈することになっていきますので、重ねてご協力をお願いします。

平成四年三月卒業 (新幹事)

クラス 氏名 電話

1 佐藤浩二 (77)二五三〇

今城理沙 (〇二七四)

2 中村 聡 (72)〇四二二

3 榎本理絵 (24)六三七一

秋本勇治 (〇四八五)

4 長田 愛 (〇四八五)

5 酒井 創 (72)六一三六

6 大植美佐 (22)二七五二

7 大野 晶 (24)〇六〇六

8 八木寿枝 (33)〇八三三

9 大槻紀保 (〇四八五)

10 山口志津子 (22)六七一八

川田貴之 (33)〇七二二

山口裕子 (21)四七六二

小暮慎一郎 (33)五〇四三

大原美恵子 (21)六三九五

今泉哲也 (〇四八五)

26 二七七七

持田光美 (76)一九〇四

福島賢一郎 (21)五四四九

森下三恵 (21)五五九三

木賀寛二 (24)〇四三四

榊田由紀子 (21)三八七二

本庄高校の過去4年間の進路別推移

1992年春の進路状況(浪人を含む)

Table showing university enrollment trends from 1989 to 1992, categorized by public and private institutions.

Table listing specific university names and their enrollment numbers for 1992, including national public, private, and vocational schools.

1992年春の進路状況

<短大・大学校の部>

Table detailing enrollment for short-term universities and university schools, including public and private institutions.

今春は、四年制大学の場合、延べ数で三三三校の合格(内、実際に進学した生徒の実数は一九六名である。以下、短大は実数で一〇名、専門学校は七九名、就職は一五名である。過去四年間のグラフの推移からもわかるように、4大の進学が高...

今春の進路状況
進路指導部 目黒輝久

<専門学校・就職の部>

Table listing vocational schools and job placements, including specialized schools and public employees.

Table showing job placement statistics, categorized by public employees, general jobs, and vocational school graduates.

年別入学者の変化(浪人を含む実人数)

Table showing the change in the number of students from 1989 to 1992, categorized by university type.

終身会費納入についてお願い

親愛なる同窓生の皆様、私達は母校への寄与貢献と会員相互の親睦向上を念願に努力しておりますが、主たる基礎財源は終身会費(老万円)を主としていま

未納の方の御協力をお願い申し上げます。終身会費ご納入の際には左記口座にご入金下さい。郵便局振込口座番号 東京三二一八七〇二〇

本高同窓会役員一同

終身納入者芳名(卒年別)

平成3・12・1・4・3・31

- 中1 平川忠雄、大屋末吉、金井松三郎、関口利雄、加藤信雄、橋本信司、松崎信雄
中2 中曾根直助、原喜幸、肥土喜二郎、森哲夫、中20 今井和一郎、堀英治、中島哲人、山田綱男
中3 今井和一郎、堀英治、中島哲人、山田綱男
中4 野口武、長谷川清、丸山平吉
中5 丸山平吉
中6 杉万衛、美沢房夫
中7 美沢房夫
中8 戸谷純之助、星大四郎
中9 木村九仁夫、桜井四郎、松本之正
中10 下山延二、市川二郎、大塚林次郎
中11 市川二郎、大塚林次郎
中12 松本克己
中13 篠崎正文、柴崎国威
中14 杉田育一、高橋申吉
中15 折茂金秋
中16 小林豊太郎、中兼久偉、日花孝一
中17 稻山八守、小此木広郷、柿沢恵治、金井俊策、木村長信

- 女14 富田ヒサ、梅澤せい、古谷富美枝、泉美恵、根岸利枝
女15 栗田定子
女16 岡部幸子、荒井つや、高橋千枝子
女20 古田しず
女21 柴崎達子、松本八栄子
女22 山口和加子
女23 諸田延子
女併1 五十嵐栄、山本頼子、堤栄子
女併2 今井ふさ子
高1 山口猪之吉
高2 芦田道郎、飯川和夫、松本恭一、大塚治太郎
高3 浅野克昭、飯塚滋、小曾根文男、藤野昭、丸山忠雄
高4 青木茂、竹田藤子、伊藤和夫、飯島章、内田賀六、勝間久之、沢村富美子、鈴木健二、関口吉雄、高木佑一、中島清子、清水あい子、丸岡八千夫、岡芹静子
高5 荒井フジ子、岩崎孝雄、大塚由雄、岡田実、稲田隆、金子弥寿次、小林美代子、境野礼次、塩原暁、正田方男、宮下純子、田島幸平、藤塚玲子、竹田清隆、小内富子、宮下幹彦、森勝之、山田喜六
高6 清水シズ子、坂本五郎、秋山守、堀内正子、大木恒夫、武藤公子、大橋賢、織茂柳子、松川琴子、塩原奈々夫、朱泳植、須藤成光、田中茂行、竹本宏、春山宏、西文子、広島静子、山田五郎
高7 新井豊作、井上三江、斉藤勝吉、篠原広、関根邦平、細田美代子、林広雄、丸山和子、望月一美、高8 金井トシ、黒沢彰忠、小暮昭、猪野ふみ江、関根章夫、橋本準三、高橋君枝、高柳百合子、新井景子、鈴木妙子、鳥羽静夫、種村

- 正江、松本泰昌、村川泰之、山田丈太郎
高9 山下ヒデ子、新井温雄、伊藤利通、大河原美恵子、小暮恒夫、肥沼龍之介、関口隆輔、掛川八重子、中里敬、藤塚三雄、高田むつ江、庄田悦子
高10 池田由美子、石原ノブ子、峯岸愛子、関口碧水、斉藤典子、谷口明広、今村惇子、樋口正敏、横堀俊六、吉田浩
高11 飯島輝雄、和田順江、矢崎富子、小林章浩、三輪美恵子、鈴木キヨ子、後藤美智子、江尻シナ、茂木美知子、関根美美子、竹本訓夫、丸山紀美子、根岸弘正、小柳秀乃、原規夫、松村勝一、太田武男、窪川節子、吉野和雄
高12 斉藤敬、松嶋百合子、高橋英二、渡辺光代、宮崎明子、久保久枝、若林京一
高13 相川雅之、吉田京子、加藤欣史、荻原文男、小林徳次郎、宮下勝子、帰山洋子、関口勲、浅見君枝、中島勝雄、中島九、関川美子、繁岡智哉、三友宏志、三友将義、宮崎鉄郎、入野幸枝、関口美枝子、間々田次子
高14 石川しづ恵、薄真人、内田禮平、神宮イク江、小林文子、小林力、小野寺由紀子、大須田栄子、田村美恵子、八木容之助
高15 小沢八重子、宮平きよ乃、井田清子、道祖士利敬、清水淳子、持田良子、根岸葵彦子、大木きよ子
高16 柿木左近、斉藤勝敏、金井利治、佐々木範子、岩崎ユキエ、塚越勝正、中島賢治、吉野正徳
高17 内田孝、石崎京子、佐藤豊作、有我安子、森静恵、坂本洋三、宮城恵美子、鈴木範子、筑紫善一朗、長浜稔、原文雄、本間

恒好、三ツ間三男、横沢晃作
高18 井上淑子、田島ゆき江、上山道子、赤木義健、栗原隆、長谷川百合子、小山清子、島田孝二、新藤誠子、向井梅子、諏訪部登喜江、関根君江、飯塚美恵子、片岡和子
高19 井上徳治、金井正元、真下明子、竹本久子、境野越子、境野徳夫、久保里子、渡辺知子
高20 若松洋子、岩田孝行、酒井崇、鈴木幹安、三浦とも子
高21 坂本和俊
高22 窪川中進
高23 窪川文子
高35 塚越茂
高36 長谷川良恵
高38 木村幸代
高39 小柳卓
高41 荒井二郎
定4 荻野良三
定5 五十嵐英
定7 山田松義、富田信子
定8 石川光三郎、野沢茂
定9 大須田保
定10 茂木由紀子
定13 柿沼紀美江、神倉克也
定14 石井忠、深田一穂
定15 荒井之夫、松井豊
定16 船戸和子
定17 井上あさ江
別9

報告事項

「寄付金」に変更できません。(a)払込金受領証のコピーを添えて変更願いを送付すること。電話での申し出は一切受けつけられない。 (b)六月三十日消印まで (c)郵送先 本庄市柏一四四一 埼玉県立本庄高等学校創立七十周年記念事業推進委員会
第二回募金要請の際に、四月三十日まで書面でご連絡頂ければ、終身会費振込用紙で送金なされた場合でも「寄付金」扱いとさせていただきます。
逸見太郎(中6) 中山訓好(中9) 川崎信夫(中18) 久保田正義(中18) 浅見金重(中18) 富田義男(中19) 森田敬一郎(中22) 山崎はる子(女8) 森泰子(女14) 五十嵐ヒサ(女10) 森田よしの(女13) 堀口久子(女17) 須賀加津子(女18) 高柳敏子(女20) 黒沢明子(女21) 日向修二(高2) 境野博(高3) 笠原光代(高4) 山田晴代(高5) 山津幸高(高5) 福島指是(高5) 井古田仁司(高7) 笠原泰基(高10) 木村明子(高10) 岡本貴子(高11) 田村清水(高11) 田村由美子(高13) 永田幸枝(高13) 富田雅雄(高14) 根岸敬子(高18) 中山裕美(高18) 荻野英夫(高18)
なお次の方々は改めての申し出はなかつたのですが、「通信欄」の文面より「寄付金」扱いとさせていただきます。ご了承ください。
大木猪四郎(中一) 佐藤清(中14) 坂原園子(女5) 四ツ柳定夫(高6) 四ツ柳富子(高8) 田端俊一(高10)

速報!!募金額 二、三〇〇万円突破

①70周年記念寄付は締切りを一ヶ月延長、六月末日迄、御協力をお願い致します。
②送金の場合には振込用紙を確認の上、使用して下さい。
③終身会費振込用紙
④終身会費振込用紙
⑤終身会費振込用紙
⑥終身会費振込用紙
⑦終身会費振込用紙
⑧終身会費振込用紙
⑨終身会費振込用紙
⑩終身会費振込用紙

# 平成5年度総会御案内

本庄高等学校同窓会員各位

本庄高等学校同窓会会長 岡 祐 孝

青葉若葉のよい季節を迎えました。会員の皆様にはお元気に活躍の由、お慶び申し上げます。皆様方の温かいご協力により始まりました母校創立70周年記念事業も滞りなく完了出来、その収支決算報告も来たる6月19日の通常総会の席上発表させて頂く予定になっております。下記のように恩師もご出席下さいますし、会員ピアニストによるショパンのポピュラー曲の演奏もありますので、万障お繰り合わせの上ご出席下さいますようご案内申し上げます。

日時/6月19日(土)午後3時

記念演奏会/ピアノ演奏 久間木聡子(高36回卒)

場所/埼玉グランドホテル本庄(本庄駅南口)

懇親会/午後4時30分 会費 3,000円

内容/午後3時通常総会、午後4時ティーパーティ(無料)

御招待予定/恩師 原多喜男、斎藤紀一両先生



発行 同窓会  
本庄高等学校 岡 祐 孝  
会長 岡 祐 孝  
事務所 本庄市銀座3-5-8  
岡 病院 内

ごあいさつ



第六代同窓会長

岡 祐 孝

親愛なる同窓生の皆様。ご健勝にて活躍のこととお慶び申し上げます。母校同窓会に対する平素のご協力に深甚なる謝意を表します。さて、先般母校創立70周年記念式典を迎えるに当り、同窓生の皆様には大変お世話になりました。同窓会としては、記念事業に関し、時節柄、極めて簡素に取組む予定でありましたが、諸般の状況変化に即応して、創立70周年の記念事業は、同窓会が主管することに決したのであります。この間の経緯は、皆様のお手元にお届けした募金趣意書に詳細

## 平成4年度 事業報告

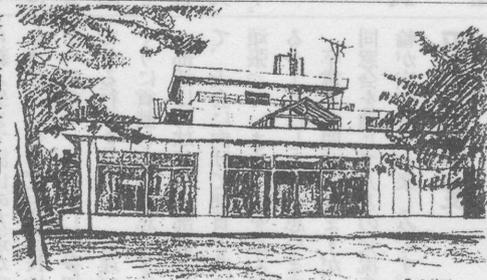
- 4年4月(1)母校入学式に出席
- (2)70周年事業中間報告 第2回寄付要請を全会員対象に

行つ

- (3)近隣市町村を訪問 記念事業協力要請
- 5月 合宿棟工事契約締結
- 6月(1)会報16号発行
- (2)平成4年度通常総会開催
- 7月(1)企業等に記念誌への広告依頼
- (2)助成金の件で第3回自治体訪問
- 8月(1)広告協賛企業原稿と料金の集金
- (2)持田直前会長逝去の追加工事の承認
- 9月(1)渡り廊下等の追加工事の承認
- (2)母校柏樹祭に出席
- 10月 中高連絡会開催
- 11月(1)合宿棟工事完成
- (2)記念誌の製本完了
- (3)70周年記念式典の

## 事業計画

- 5年4月 母校入学式に出席
- 6月(1)会報17号発行
- (2)通常総会開催
- 7月 部活動の応援
- 9月 中高連絡会の開催
- 12月 会報18号発行
- 6年1月(1)母校へ助成金贈呈
- (2)育英資金の支給
- 2月 支部長会議及び新年会の開催
- 3月(1)新入会式の開催
- (2)新幹事の委嘱
- (3)母校卒業式に出席



設計 本間設計本間 恒好高17  
施工 竹並建設竹並栄一郎併2  
食堂 デッサン 中野 恒高4

挙行と祝賀会開催

- 12月(1)年賀状発送
- (2)記念誌を郵送
- 5年1月(1)70周年推進委員会 各事業報告及び収支決算報告承認
- (2)母校へ助成金贈呈
- (3)育英資金の贈呈
- 2月 支部長会議、新年会を開催
- 3月(1)新会員入会式開催
- (2)新幹事の委嘱と懇親会の開催
- (3)母校卒業式への出席と記念品の贈呈

闘志なき者は

グラウンドを去れ!

(野球部)

柏陵消息

伝統の継承をめざして

学校長 坂本 博



同窓会員の皆様には御元気で御活躍のことと存じお喜び申し上げます。

昨年は本校創立七十周年の記念事業推進にあたり、格別の御協力を頂き、心から厚く御礼申し上げます。

お陰様で記念式典、祝賀会も滞りなく施行され、また、立派な記念誌の刊行、合宿棟の整備、食堂の贈改築等七十周年記念の大事業が完成いたしました。

これも偏に、岡祐孝同窓会長様はじめ同窓会役員の方々、本校PTA、後援会の方々、地域の方々の献身的なご尽力の賜と深く感謝申し上げます。

食堂は御陰様で連日、活況を呈し、生徒は楽しく活用し、学校生活が潤いのある明るいものとなりました。

ゆつたりした空間、明るい採光、機能的な厨房、清潔な食器と、県下でも屈指の食堂品数が豊富なメニューや美味しい食事で、生徒や保護者からも好評です。教育活動も活発で、進学については、本年三月卒業生の大学、短大合格率は四十%を超え、努力の成果をみました。また、往年のレベルにはいま一步ですが、着実に前進しつつあります。部活動では、運動部、文化部とも頑張り、成果をあげてまいりました。卒業生の皆さんの話題になる野球部も伝統の復活を旨とし連日練習を重ね、今春は県北大会を勝ち、県大会で大宮東高に惜敗しました。その他サッカー、卓球、バレー、バスケット、弓道、陸上部等々も善戦し、古豪復活の日も遠くないと思います。また、吹奏楽、書道、美術、演劇等の文化部も努力し、発表会等では質の高いものを發揮し、力強いものがあります。現代は国際化時代で、同窓生の皆様も世界各地で、また日本の各地で働き、活躍し、

新食堂の評判

田村博泰先生にインタビュー

70周年記念事業のメインである新食堂の評判について担当の田村博泰先生にお話を伺いました。以下その要旨を報告する。旧食堂時代と比べると断然違うことが三つあると云う。一つは土曜日の利用者の激増であり、第二は授業中に飲食物を求めて校外へ飛び出す生徒がほとんどいなくなったことであり、第三は出来立ての温かくて安い料理が何種類も提供されるようになった為、多くの教職員も食堂にやってきて、生徒と一緒に楽しく食

家庭を営むことが多いと思います。故郷を遠く離れ、はじめて、自己確認=発見が切実なものとなるでしょう。その時に、日本の良さや故郷の心のぬくもりが思い出され、母校が懐かしくなるものです。故郷の町の風景、友の顔、先輩、後輩の姿が浮かびます。私も母校本庄高校に三十年ぶりに戻り、郷土の厚い人情に触れ、感激しました。伝統の力というものは不思議なものだと思えます。在校生諸君もこの伝統に輝かしい一頁を加えますよう期待します。

生徒会長として

岩田 美貴

私の生徒会長としての生活も、もうすぐ終わりになります。とても充実した二年間がおくれてとても幸せです。役員になり何も知らない人者になり、意見の対立することもありました。かがけがえのない友情が生まれました。それから人のやさしさを知りました。行事で忙しい時、はげましてくれたり手伝ってくれたり、本当に感謝しています。自主的精神に満ち溢れた本庄高校生徒会の伝統がいつまでも続くことを信じています。

友達づくり

横井 正次

僕は、高卒の資格と友達をつくる目的で定時制に入学し

ました。それから一年経ち、学校生活にも慣れ、卒業生から新入生まで沢山の友達ができました。今年度生徒会長になったので、皆が楽しく参加できる行事を計画し、友達づくりに貢献したいと思います。部活は野球部で、部長として、大会に向けて部員と共に頑張っています。和を重んじるチームにしたいと思っています。卒業まで間がありますが、同窓会を通じて人との交流の輪が広がるのが楽しみです。

平成五年度 当初人事異動

〔全日制〕 敬称略

〔退職〕

教諭 新井栄治 業務主任 清水勝政

〔転出〕

教諭 寺崎幸夫 鈴木安津子 岡屋義之 井口茂夫 山本康夫

〔転入〕

教諭 柳 玲子 渡辺せつ子 星 信寿

〔新採用〕 教諭 小林幹幸 桑原明子 主事 出浦尚明

〔定時制〕

〔転出〕 主任 小暮 格

〔転入〕

主任 查 深田邦夫

非常勤講師

〔全日制〕

猪野玉次 大野福治 井上不二雄 古橋 汪 乗松雅宏 澄川文雄 須藤和夫 中岡 天 堀口直樹 石田みどり 中村寿成 岡村真美子

〔定時制〕

神原秀紀 野口三恵子 長谷川秀子

今春の進路状況  
教頭 飯島輝雄

今春の進路状況は別表の通りである。現役の四大と短大の合格率は四〇%で、平成三年三二%、平成四年三五%と徐々に上昇してきている。しかしながらまだ合格者は現役より浪人が上回っている。浪人して希望する大学に合格出来た卒業生は在学中しつかり授業を受けていた生徒であった。

本校では、進路指導の充実のため一年から実力テストを年五回実施したり、三年生を中心に放課後及び夏休みに補習授業実施している。また、県からは進学指導推進指定を受け、進学に向けクラスを二分割して授業を行うなどして授業の充実を図っている。

その他、地元中学校との連携を深めるために学校説明会等を実施して意思の疎通を図り地元の期待する進学校としての役割を果たしていきたい。

私立短大	
1 立正短大	
2 女子聖学院短期大学	
3 跡見学園短大	
4 帝京女子短大	
5 東京家政短大	
6 十文字学園短大	
7 城西女子短大	
8 大妻女子短大	
9 文化女子短大	
10 駒沢短大	
11 昭和女子大学短期	
12 目白学園女子短大	
13 宇都宮短大	
14 関東学院女子短大	
15 埼玉純真短大	
16 産能短大	
17 新島学園女子短大	
18 東横学園女子短大	
19 東京女子体育短大	
20 東洋女子短大	
21 浦和短大	
22 共愛女子短大	
23 共立女子短大	
24 桐朋学園短大	
25 群馬女子短大	
26 戸板女子短大	
27 江戸川女子短大	
28 高崎芸術短大	
29 高崎商科短大	
30 山村女子短大	
31 山脇女子短大	
32 淑徳短大	
33 女子栄養短大	
34 尚美学園短大	
35 昭和音楽短大	
36 上野学園短大	
37 杉野女子短大	
38 聖徳栄養短大	
39 聖徳大学短期	
40 青山女子短大	
41 川村女子短大	
42 帝京短期大学	
43 帝京平成短大	
44 東京経済短大	
45 東京成徳短大	
46 東京農業大学短期	
47 東洋大学短期	
48 日本橋女子館短大	
49 日本女子体育短大	
50 富士短大	
51 武蔵野女子短期大学	
52 文京短大	
53 明の星女子短大	
54 明治大学短期大学	
55 立教大学院短大	
計	
私立短大総計	153

63 摂南大学	1名
64 千葉経済大学	1名
65 千葉商科大学	1名
66 多摩大学	1名
67 大阪学院大学	1名
68 長野大学	1名
69 東京経済大学	1名
70 東京経済大学	1名
71 東京情報大学	1名
72 東京薬科大学	1名
73 日本社会事業大学	1名
74 日本福祉大学	1名
75 日本ルーラル神学大学	1名
76 武蔵大学	1名
77 武蔵野美術大学	1名
78 北星学園大学	1名
79 北里大学	1名
78 名城大学	1名
80 明治薬科大学	1名
81 酪農学園大学	1名
82 立教大学	1名
83 立命館大学	1名
以上私立4大 計	326名

公立短大	
1 埼玉県立衛生短大	
2 前橋市立工業短大	
3 筑波技術短大	
計	
公立短大総計	5

26 埼玉工業大学	3名
27 女子栄養大学	3名
28 中央大学	3名
29 東京音楽大学	3名
30 武蔵工業大学	3名
31 武蔵野音楽大学	3名
32 國學院大学	3名
33 玉川大学	2名
34 近畿大学	2名
35 江戸川大学	2名
36 淑徳大学	2名
37 青山学院大学	2名
38 専修大学	2名
39 中央学院大学	2名
40 東京工科大学	2名
41 東京農業大学	2名
42 東邦音楽大学	2名
43 東邦大学	2名
44 明海大学	2名
45 立正大学	2名
46 流通経済大学	2名
47 横浜商科大学	1名
48 岡山理科大学	1名
49 学習院大学	1名
50 京都産業大学	1名
51 九州共立大学	1名
52 敬愛大学	1名
53 高野山大学	1名
54 札幌学院大学	1名
55 産能大学	1名
56 実践女子大学	1名
57 湘南大学	1名
58 上武大学	1名
59 城西国際大学	1名
60 神奈川工科大学	1名
61 清泉女子大学	1名
62 聖学院大学	1名

国公立4大	
1 群馬大学	7名
2 新潟大学	1名
3 九州工業大学	1名
4 横浜市立大学	1名
5 高崎経済大学	1名
6 青森公立大学	1名
以上国公立 計	12名

私立4大	
1 大東文化大学	31名
2 東洋大学	26名
3 城西大学	18名
4 神奈川大学	15名
5 帝京大学	15名
6 日本大学	14名
7 国土館大学	11名
8 東京国際大学	11名
9 関東学院大学	8名
10 東京電機大学	8名
11 駒沢大学	7名
12 千葉工業大学	7名
13 足利工業大学	7名
14 明治大学	7名
15 工学院大学	6名
16 東京家政大学	6名
17 法政大学	6名
18 山梨学院大学	5名
19 芝浦工業大学	5名
20 駿河台大学	5名
21 東海大学	5名
22 女子美術大学	4名
23 拓殖大学	4名
24 独協大学	4名
25 明星大学	4名

卒業生の推移 (各卒業年の現役合格者等実数、最近5ヶ年)

	国公立	私立	短大	専門	就職	浪人	卒業者	大・短進学率
平成元年卒	1	59	61	71	27	200	419	28.8%
平成2年卒	2	76	77	73	10	176	414	37.4%
平成3年卒	8	56	71	81	16	196	428	31.5%
平成4年卒	5	66	98	75	15	218	477	35.4%
平成5年卒	1	66	102	62	4	183	418	40.4%

(単位:人)

# 終身会費納入についてお願い

親愛なる会員の皆様、私達は母校への寄与貢献と会員相互の親睦向上を念願に努力しておりますが、そのための財源は終身会費(壹万円)を主としておるわけであり、従いまして未納の方の御協力をお願い申し上げます。終身会費ご納入の際には左記口座にご入金下さい。郵便局振込口座番号 東京二一八七〇二〇

なお事務整理上、出来るだけ同封の振込用紙をご使用下さい。

本高同窓会役員一同

## 終身会費納入者芳名(卒年別)

平成4・4・1〜5・3・31

中8	鈴木理民	高6	原 忠雄
中9	石川貞司	高7	清水順子、板垣律夫
中14	石川 昇	高8	久保文子、馬渡久代
中17	春山俊三、立野淳三	高9	茂木一夫、川部節子
	田中秀男	高10	沢沢勝利、青木暉夫
中19	小川昭二	高11	野中春代、横内広子
中21④	高宮 守	高12	大木和恵、長谷川典男
中22	荒井 威	高13	伊藤清美、真下昌由
中23	久保 誠、強瀬洋一	高14	茂木靖子、戸谷明夫
		高14	吉橋武夫
女6	野崎イチ	高16	倉本重八
女16	小沢八重子	高17	宮下隆雄、間庭ヨリ子
女17	南雲百恵	高18	栗原章雄、矢島とみ子
女23	宮関祥子	高19	守山封恵子
	柿沢輝彦、渡辺 寛		高野美代子、萩原幹郎
	柳沢久雄		栗田初枝
高3	森田栄一、加治武子	高20	瀬戸いづみ
高4	畑中 勝、根岸篤太郎	高22	小林みどり
高5	塚越忠良	高31	角田直樹

## 納入状況

昭和五〇年の持田直前会長時代の総会にて承認決定された終身会費納入制度は、その後会員の皆様のご協力を頂き、平成五年三月三十一日現在、終身会費納入者数が二、六三七名にまで達しました。しかし会員総数よりみますとまだまだですので一層のご協力をお願い申し上げます。

## 平成五年三月卒業(新幹事)

1	橋本大輔 (21)八八三四
2	大池 洋 (〇四八五)
3	金井優治 (21)七六六一
4	酒井 誠 (〇四八五)
5	中島 悟 (〇四八五)

## 本部役員

江利川弘美 (〇四八五)	会長 岡 祐孝 中9
富永朋和 (〇四八五)	副会長 立川大作 中9
坂口典子 (21)九四九六	副会長 竹並栄一郎 併中2
新井洋一 (〇四八五)	副会長 吉田建治 高2
清水優子 (33)六五〇六	副会長 清水 實 中19
鈴木健夫 (22)四七二五	副会長 小林 晶 高12
関根妙子 (21)三八五〇	副会長 高木敏子 女8
湯本昌孝 (〇四八五)	副会長 塚越寿衛 高2
小泉朋子 (21)九〇一〇	副会長(教頭) 飯島輝雄 高11
江原正樹 (21)〇一六三	副会長(教頭) 小櫃俊夫
牛久保幸恵 (22)五〇三五	会計 戸谷全克 高1

## 支部役員

宮 本 栗村龍男 中16	支部長
泉 町 竹並栄一郎 併中2	
仲 町 中田脩一 中19	
上 町 境野 登 高2	
七軒町 町田一徳 高5	
本 町 鈴木清司 中21	
台 町 松本敬一 定1	
照 若 飯野利衛 中19	
南本町 村田敬次郎 中22	
末 広 野枝直治 高5	
諏 訪 井上昌幸 中22	
朝日町 内藤 明 高3	
藤 田 荻野 清 中8	
仁 手 福島好正 高3	
旭 戸塚泰和 中3	
北 泉 門倉義久 中11	
今 井 岡芹鶴五郎 中10	
児 玉 吉田建治 高2	
美 里 春山一三 高3	
神 川 金井久直 中22	
神 泉 新井從信 中15	
上 里 荒井富次雄 中11	
岡 部 茂木 肇 中14	
寄 居 朝比奈俊雄 中9	
深 谷 清水 實 中19	
熊 谷 西村茂雄 中17	
梶 原 中居武夫 高5	
伊勢崎 吉澤唯志 高11	
新 町 山口仁一 中14	
東 京 富田三郎 中4	
本庄市役所 小林 晶 高12	
エーザイ 常木茂司 高5	
沖電気 村岡徳英 高15	
郡市教職員 福島 巖 高8	

## スローガン

1. 名誉ある歴史と伝統に輝く母校を愛し母校の発展に寄与しよう。
1. 本高同窓会の旗の下に結集し、地域に香り高い文化の花を咲かせよう。
1. 人間関係を大切にし、会員相互間に親睦の輪を上げよう。
1. 組織を整備強化し、機能的な連絡網を拡充して、同窓会の活性化を図ろう。
1. 建学の精神を尊重し、後輩の指導育成に努めよう。